

デマテア フレックスクラッキングテスタ

De Mattia FLEX-CRACKING Tester

用 途

加硫ゴムの屈曲き裂発生試験及び屈曲き裂成長試験を最大20本(No.255は12本)を同時に行う事ができる繰り返し屈曲試験装置です。又この装置は、安全面、操作性、騒音解消に配慮して製作されています。



No.255 デマテア フレックスクラッキングテスタ
型式 DM-01



No.263 恒温槽付デマテア・屈曲試験機 型式 A



No.263 恒温槽付デマテア・屈曲試験機 型式 G7A-L

特 長

【No.255 デマテア フレックスクラッキングテスタ】

安全機能・便利機能を追加した小型のモデル

1. プリセットカウンターにより設定値で自動停止し、ブザーで試験終了をお知らせします。
2. チャック移動ハンドルと固定具を装備したので、試料セット間隔及び評価時の屈曲間隔が容易にセットできます。
3. 運転中は自動的に扉をロックし安全運転ができます。
4. 過負荷状態になるとモーターが自動停止します。
5. 往復運動を鉛直対向方式にした事により、振動や騒音が少なくなりました。
6. 試験中試験室内が昇温しないように配慮してあります。

【No.263 恒温槽付デマテア・屈曲試験機】

恒温槽付きで高温環境での試験ができるモデル

1. 常温(+40℃)～150℃までの恒温槽付き
2. 型式G7A-Lは破断検出ユニットが更に追加されます。
* 標線間の伸び約 20%以上で検出可能(標線間 20mm の時)

仕 様

| カタログNo. | 255 | 263 | 263 |
|-------------|--|--------------------------|---------------------------|
| 型 式 | DM-01 | A | G7A-L |
| 試料 サンプル数 | 最大12本 (上段6本・下段6本) | 最大20本(たて型) | 最大20本(たて型) 破断検出装置付※1 |
| 温 度 | — | 常温(+40℃)～150℃ | |
| 屈曲速度 | 5(±0.17)Hz 【毎分300(±10)回】規格値 | | |
| 屈曲ストローク | 57mm固定 | 0～100mm | |
| 駆動方式 | 鉛直対向バランス駆動 | | |
| 屈曲モーター容量 | 200W | 750W | |
| 試験回数設定 | 0～999999回(6桁) | 0～99999999回(8桁) | |
| 安全対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターロック付きドア ・過負荷停止装置(モーター) | | |
| | ドアロック機能 モーター回転時はドアが開き ません。 | — | |
| そ の 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・試験終了ブザー機能 ・手動クランク回転ハンドル | | |
| 電 源 | 単相 AC100V 50又は60Hz 7A | 3相 AC200V 50又は60Hz 15A | 3相 AC200V 50又は60Hz 17A |
| 機体 寸法 | 約 W450 X D450 X H600mm | 約 W1270 X D900 X H1500mm | 約 W1270 X D1050 X H1500mm |
| 質 量 | 約78kg | 約520kg | 約700kg |
| 参考規格 | JIS K 6260、ASTM D 813、ISO 132 | | |
| オプション | 屈曲き裂成長試験用切り込み器 型式:P-DM1 | 切り込み刃付 参考規格:JIS K 6260 | |
| | 切り込み刃 型式:P-DM2 | 参考規格:JIS K 6260、ISO 132 | |

※1 標線間の伸び約 20%以上で検出可能(標線間 20mm の時)

<https://www.toyoseiki.co.jp>

2023.02

材料試験機の総合メーカー



株式会社 東洋精機 製作所

本社・東京支店 〒114-8557 東京都北区滝野川5-15-4 TEL 03-3916-8181 FAX 03-3916-8173
 大阪支店 〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-14-35(中央社ビル) TEL 06-6386-2851 FAX 06-6330-7438
 名古屋支店 〒461-0003 名古屋市東区筒井3-30-12(森ビル別館) TEL 052-933-0491 FAX 052-933-0591

●記載内容は改良のため変更することがあります。